



新田中だより

令和6年10月1日発行

草加市立新田中学校 生徒数421名

学校教育目標：『豊かな心と学ぶ意欲をもち、広い世界でたくましく生きる生徒』

仲間と共に

校長 遠藤 淳一

先月、3年生の修学旅行が行われました。残暑が厳しく、大変疲れたようでした。しかし、仲間と共に楽しめたことも良い思い出となったようですし、何よりも、目標・ねらいを意識した言動も多く見られ、集団や個人をレベルアップさせることができたのではないのでしょうか。先生方も細かいところまで指導してくださり、全体の質を向上させてくれたことに感謝します。

そんな中、明日から新人体育大会が始まります。1・2年生の皆さん、練習の成果を十分に発揮して戦ってほしいと思います。その活躍の様子については、今後の各たより等でお知らせすることができると思います。ご期待ください。

さらに、学校行事としてはすでに合唱コンクールの取り組みが始まっています。大変忙しいのですが、生徒たちはこの合唱にも意欲的です。各クラスから大きな歌声も聞こえてきます。

さて、生徒の皆さん、「合唱」という言葉の意味を考えたことはありますか。「合」は「合わせる」という意味があります。「うた」には「歌」と「唱」があります。なぜ「唱」の字を使ったのかはよく分かりません。この二つはあまり大きな意味の違いはないようですが、だいたい次の意味を持っているようです。

「歌」…「うった(訴)ふ」「相手の心を激しく揺さぶる(『打つ』からきている)」

「唱」…「声に出して読み上げる」「となえる」「すばらしくさかんな声」

これらを総合した私なりの解釈は次のようなものです。

合唱とは「**全員の声に合わせて、その思いを訴え、相手の心を強く揺さぶる**」もの。

では、どうやったら心を強く揺さぶることができるのでしょうか。

私は今まで多くの合唱を見て、聞いてきました。すごく上手で感動した合唱もありました。しかし、決して上手くはないのですが涙が流れてくるくらい感動した合唱もありました。それは**全員で一生懸命に唱う姿**でした。それと協調性です。**クラスが一体となった姿**です。「みんなで心を合わせてつくった合唱です。」という気持ちが伝わってくるのです。そこに美しさも表れるのです。このような経験をしたクラスは固い絆で結ばれていきます。そして個々は、合唱の素晴らしさを知ると同時に、自分の中で何かが大きく変わっていくことに気が付きます。人生の中で貴重な体験として自分の成長の糧になっていくのです。



関西合唱団青年部にこんな言葉があるそうです。

「合唱は、みんなが唱うんじゃない。みんなで唱うんだ。そして、自分はみんなのうちの一人だ。」

皆さんにとってこの合唱コンクールが貴重な、そして、素晴らしい体験となり、さらに大きく成長することを期待します。

新田SPIRIT
 ~ We are tied with strong chains ~

1. 【感謝】「ありがとう」「ごめんなさい」を言います
2. 【敬愛】「いじめ」をしません
3. 【礼儀】心をこめて接します
4. 【正義】卑怯な振る舞いをしません
5. 【自律】我慢をします
6. 【努力】夢に向かって頑張ります

